

第2回学校評議員会

2月23日（土）、下妻第一高等学校・学校評議員会を、本校応接室にて開催しました。内容は以下の通りです。今回の出席者は、5名中4名の評議員の方々と、校長・教頭・事務室長・教務主任・進路指導主事・生徒指導主事をあわせた9名での開催でした。

- 1 校長挨拶
- 2 関係資料の説明
 - （1）学校自己評価表
 - （2）進路指導関係
 - （3）生徒指導関係
- 3 懇談

校長挨拶では、文武不岐を実践している生徒の活躍を中心に学校の教育活動を説明しました。また、直近の話題として併設型中高一貫教育校に選ばれたことも話題として提供し、委員の方の関心も高く、懇談の中でも更に質疑応答がありました。学校施設関連では、為桜会館の改修や男子トイレの改修により、生徒の学校生活環境が大きく改善したことも報告させていただきました。今年度は、ベネッセの教育誌に取り上げられたことで、6県18校の先生方が視察に訪れました。その先生方に本校の取組をお伝えし、情報交換ができたことも大きな収穫でした。

この会の目的とも言える、学校自己評価については、教務主任から達成状況や生徒・保護者アンケートについて説明し、評議員の方の判断材料としていただきました。特にアンケートの内容については、概ね良好ではあるものの、課題となるところもあり、引き続き改善に努めることを、お約束しました。

進路指導主事からは、現時点での大学進学等の進路状況について、昨年とほぼ同程度の成績が見込まれる旨の説明がありましたが、これからが一番大切な時期ですので、3年生担当職員を中心に、生徒の支援を継続していきます。

生徒指導主事からは、生徒の落ち着いた生活状況をお伝えしましたが、スマートフォンの扱いについては、プラス面マイナス面があり、今後保護者の方も含めて検討を重ねていく必要があることが確認されました。

評議員の皆様からは、和やかな雰囲気の中にも、本校をさらに良くしたいという前向きなご意見が多く出され、我々にとっても有意義な時間となりました。今後も、ご意見やご指導を頂けるようお願いして散会となりました。